

Report

能登半島派遣報告

会場

輪島商工会議所

応援経営支援員

中小企業相談所長

鬼頭 貴士



7月22日～25日の4日間、輪島商工復興センター内の輪島商工会議所にて被災された事業者の相談に行ってきました。

輪島商工会議所の近くにある小学校では校舎の解体が行われ、また輪島港では地震で隆起した土砂を取り除く浚渫工事が行われているなど、まちの至る所で復興にむけて前進している様子が見受けられました。

事業者からの相談内容は、持続化補助金災害枠の7次申請に関する計画書作成のアドバイスと5・6次採択後の書類不備による確認が中心でした。

申請に関しては、「持続化補助金を初めて聞いた。パソコンは使えないが申請可能か」と相談があり、1年半が経過している中でもまだまだ補助金などの支援情報が行き届いていないと感じました。

また採択後の書類不備による相談では、自宅兼事務所の事業用部分の確認や、土地建物の登記を父親から変更していない、被災状況の写真を記録していないため証明できない、といった内容がありました。書類不備の相談は、おおまかにこの3点が多かったため、補助金に取り組まれる事業者には事前に共有することで、その手間を減らすことができると思われます。

相談に来られる事業者は高齢の方が多く、自身でパソコン入力ができないため会議所のサポートが必要な方もいらっしゃいます。そういった方々にも寄り添った対応をするのも商工会議所の役割であり、引き続いての支援はまだまだ必要だと感じました。

